

# 東日本大震災 伝承シンポジウム

継続の危機を越え、伝承の意義を未来へ

進路調査書

1. 語り部
2. 消防士

YouTube

参加無料  
要申込

2024年度 日本郵便年賀寄付金助成事業  
2025 3.1 ± 13:30~17:00

📍 陸前高田コミュニティホール (陸前高田市高田町字栃ヶ沢 210 番地 3)

および  Youtube での LIVE 配信

## ーシンポジウムの目的ー

震災伝承活動の意義を共有し、次世代への伝承を継続可能なものとするための事例共有とディスカッションを行います。

震災から15年の節目に向け、継続性の不安を抱える被災地の伝承活動に対し、参加者全員でその意義を再度捉えなおし、未来の命を守る取り組みを持続可能なものとするために取り組むべき問題を考えます。

## 登壇者



復興庁 (併) 内閣府  
参事官 後藤 隆昭氏



陸前高田市観光物産協会  
事務局長補佐 小林 大樹氏



大川伝承の会  
共同代表 佐藤 敏郎氏



富岡町 3・11 を語る会  
代表 青木 淑子氏

主催者  
問い合わせ

公益社団法人 3.11メモリアルネットワーク  
[仙台事務所] 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 2-2-30 4F-25  
[石巻事務所] 〒986-0834 宮城県石巻市門脇町 5-1-1  
[TEL] 0225-98-3691 [FAX] 0225-98-3692 [E-mail] info@311mn.org



## シンポジウム開催概要

開催日時 2025年3月1日(土)13:30～17:00

会場

現地参加：陸前高田コミュニティホール（陸前高田市高田町字栃ヶ沢210番地3）  
オンライン：YoutubeでのLIVE配信

申込み

現地参加：事前申し込み優先（当日参加可）／先着200名  
オンライン：申込み不要

現地申込



視聴用URL



## スケジュール

13:30～ 開会行事

13:40～ 震災伝承調査結果報告・テーマ提起 専務理事 中川政治

13:55～ 災害教訓継承のこれまでとこれから 復興庁(併)内閣府 参事官 後藤隆昭氏

14:20～ 岩手・宮城・福島の事例共有 陸前高田市観光物産協会 事務局長補佐 小林大樹氏  
大川伝承の会 共同代表 佐藤敏郎氏  
富岡町3・11を語る会 代表 青木淑子氏

15:45～ パネルディスカッション「継続の危機を越え、伝承の意義を未来へ」  
パネリスト：後藤隆昭氏、小林大樹氏、佐藤敏郎氏、青木淑子氏／ 進行：代表理事 武田真一

16:45～ まとめ、宣言文の発表

## 後援

復興庁、内閣府政策統括官（防災担当）、岩手県、宮城県、福島県、陸前高田市、岩手県教育委員会、陸前高田市教育委員会、岩手日報社、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、IBC岩手放送、tbc東北放送、、khh東日本放送、、



## 同日開催 県境横断ツアー「語り部・ガイドと共に」

シンポジウムの当日に、開催前の午前中に県境横断ツアー（マイクロバス運行）を開催します。県境を跨いで、語り部とガイドの想いに触れることのできる機会です。（横断バスツアーは有料です）

行程	7:30	9:40～10:30	11:00～12:30	12:35～13:05	13:10	13:30～17:00	17:15	19:30
	仙台駅 東口発	気仙沼市 杉ノ下地区 語り部	高田松原津波復興 祈念公園パークガイド	道の駅高田松原 昼食・休憩（各自）	バス 乗車	東日本大震災伝承 シンポジウム	バス 乗車	仙台駅 東口着

※「石巻」「陸前高田」集合解散の行程もございます。詳細はQRコードからウェブサイトをご確認ください。

## 要項

- ・【要申込】シンポジウムとは別に申込が必要です。
- ・参加費（予定）税込3,000円（語り部、ガイド料、バス代）・添乗員同行なし
- ・締め切り日（2024年2月19日（水））までにお申し込みください。
- ・最少催行人数（15人）に満たない場合はキャンセルとさせていただきます。
- ・気象、道路状況や感染症の影響により行程が変更となる場合があります。

申込  
有料  
ツアー



企画・実施：河北新報トラベル